

## ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報			
ふりがな	かわぐち よしひろ		
氏名	川口 義洋		
所属	合同会社コトプレイス		
役職	代表社員		
活動エリア	全国		
連絡先	住所	〒 708-0002 岡山県津山市上河原174-9	
	電話番号		
	メールアドレス	y.kawaguchi@cotoplace.com	
キャッチコピー	「コトづくりを通して、公共建築や公共空間を幸せな存在にする」		
自己PR	人の営みが少ない無機質な建築や場所がいくらあっても、そこに住む人々の暮らしは豊かになりません。人と人が出会い、色んなコトや新しいコトが始まる。建築の専門家であり、これまでの行政経験を活かしながら、コトづくりを主体とした場所づくりによって、エリアの価値を高め、楽しく豊かに暮らせるまちを創りたいと考えています。		
関連ホームページ	名称	アドレス	
	合同会社コトプレイスHP	<a href="https://cotoplace.com">https://cotoplace.com</a>	
2. 略歴・受賞歴			
略歴・受賞歴	岡山県勝田郡勝央町出身 ◆平成11年度 津山市役所入庁 ◆平成27年度～ FM(ファシリティマネジメント)部門に異動 ◆平成30年度～ 旧苅田家付属町家群のコンセッション事業(現:城下小宿 糘や)に参画 ◆令和2年度～ 旧グラスハウスの利活用事業(現:Globe Sports Dome)を主導 ◆令和3年度 土地活用モデル大賞(国土交通省所管)「都市みらい推進機構理事長賞」受賞 ◆令和4年度 第17回日本ファシリティマネジメント大賞(日本ファシリティマネジメント協会主催)「奨励賞」受賞 ◆令和6年度 第1回PPP/PFI事業優良事例表彰(内閣府主催)「大臣賞(最優秀賞)」受賞 ◆令和6年度～ PFI推進委員会事業推進部会委員 ◆令和6年度～ スモールコンセッションプラットフォーム運営委員		
3. 取組分野			
観光	( )		
移住・定住・関係人口	( )		
農林水産業	( )		
起業支援	( )		
● まちなか再生	(公共空間や公共施設を活かした地域活性化やまちづくり事業)		
集落再生	( )		
環境	( )		
その他	( )		
4. ふるさと財団での実績			
外部専門家(活用助成)	◆2023年度 岩手県紫波町 公民連携アドバイザー派遣事業(PPP・PFI・公マネ) ◆2025年度 東京都東大和市 公民連携アドバイザー派遣事業(PPP・PFI・公マネ) ◆2025年度 富山県滑川市 公民連携アドバイザー派遣事業(PPP・PFI・公マネ)		

## 5. 取組内容・実績

取組内容・実績	<p>【取組事例①】</p> <p>(1)事業名 :旧苅田家付属町家群整備事業  (2)対象地 :岡山県 津山市  (3)事業目的:  事業エリアである城東地区は、町並み自体が津山市の貴重な文化遺産となっており、歴史と文化を巡る観光スポットであり、事業の実施により観光客の誘客、地域のにぎわいの創出と地域活性化、域内需要の拡大を図るもの。</p> <p>(4)事業内容:  旧苅田家付属町家群宿泊施設を対象として、公共側で施設の整備を行うとともに、民間事業者側に、PFI方に基づく公共施設等運営権(コンセッション)を設定するもの。</p> <p>(5)事業による成果:  市の財政負担の軽減、周辺エリアの活性化などに寄与している。また本事業の成果によって、小規模公共施設へのコンセッション導入が進み、国のスモールコンセッション推進政策のきっかけを作ることとなった。</p>
	<p>【取組事例②】</p> <p>(1)事業名 :旧グラスハウス利活用事業  (2)対象地 :岡山県 津山市  (3)事業目的:  市の公共施設として最も赤字額が大きかった「旧グラスハウス」をプール存続を前提としなリノベーションにより、民間の独立採算施設として再生するもの。</p> <p>(4)事業内容:  民間事業者からの提案に基づくRO-PFIによる施設改修を行なった上で、公共施設等運営権(コンセッション)を設定し、独立採算施設として転換する。</p> <p>(5)事業による成果:  事業対象施設である旧グラウハウスは、県から市に譲渡された公共施設で、通年型温水レジャープールという性質上、ハイシーズンとオフシーズンとで集客に大きな差があるなど運営面で課題を抱えており、加えて施設の老朽化が進行し、年間の指定管理料が1億円を超えるなど、長年、市の大きな行政課題となっていた。  プール機能にとらわれることなく、施設の利活用及びリノベーションにより、民間の独立採算施設として転化したことで、市の財政負担の軽減、施設の魅力向上、地域経済循環などの効果を生んでいる。</p>
	<p>【取組事例③】</p> <p>(1)事業名 :阿波地域のエリアリノベーション事業  (2)対象地 :岡山県 津山市  (3)事業目的:  人口減少が著しい中山間の過疎エリア(阿波地域)において、公共施設に民間収益施設を組み込むことで、エリア全体の価値の向上と、公共施設の収益構造の転換を図るもの。</p> <p>(4)事業内容:  集客がほとんどなく、閑古鳥が鳴いていた地域内のキャンプ施設に、民間主導型のグランピング施設を組み込むことで、約40倍の売り上げ向上を果たすとともに、エリア内の公共施設の利活用及びリノベーションを図る事業。</p> <p>(5)事業による成果:  過疎エリアにおいて、廃止が目前となっていた施設を再生し、民間主導による集客力・収益力の向上により、売り上げが従前の40倍程度に増加するなど、エリア全体の価値向上に寄与している。</p>
	<p>※上記以外の取組内容・実績</p>